

一般入試前期A日程2日目

日本史

I

■出題の狙い

原始・古代の政治史を中心に出题しました。Aでは、大化の改新についてのリード文を示したうえで、蘇我氏や天智天皇など、幅広く基本的な知識を問いました。改新の詔に関しては文献として『日本書紀』を用いて、史料の読解問題を出题しました。また、Bでは、平安時代初期の政治史を中心に出题しました。東北経営については、歴史的な流れの理解を問いました。

■採点講評

- 解答番号1 正答は①です。②敏達天皇ではなく崇峻天皇。敏達天皇は推古天皇の夫。③難波宮ではなく飛鳥板蓋宮。④国博士ではなく右大臣。国博士は高向玄理・旻がつとめた。
- 解答番号2 正答は④です。イ皇極天皇にかわって、645年に孝徳天皇が即位した。エ磐井の乱は527年に筑紫国造磐井が起こした反乱。
- 解答番号3 正答は③です。③X誤り。屯倉は天皇家の直轄地。田荘は豪族の私有地。Y正しい。
- 解答番号4 正答は②です。①近江大津宮に遷都した後に、大津宮で即位して天智天皇となった。③④天武天皇の事績である。
- 解答番号5 正答は②です。カ藤原百川は光仁天皇を擁立した人物。ケ二大事業の中止を主張したのは藤原緒嗣。菅野真道は二大事業の継続を主張し、緒嗣と対立した（徳政相論）。
- 解答番号6 正答は②です。①九州や東北では軍団が維持された。③嵯峨天皇の事績。桓武天皇が設けた令外官は勸解由使。④6年1班から12年（一紀）1班に改められた。
- 解答番号7 正答は⑤です。Ⅲ797年、桓武天皇が坂上田村麻呂を征夷大將軍に任じた。→I 802年、坂上田村麻呂は胆沢城を築き、鎮守府を移した。→Ⅱ811年、嵯峨天皇から征夷將軍に任じられた文室綿麻呂は蝦夷を平定した。
- 解答番号8 正答は③です。①貞観格式ではなく弘仁格式。貞観格式は清和天皇の治世に完成した。②和様ではなく唐風の書の名手とされた。④最澄ではなく空海。
- 解答番号9 正答は③です。勅旨田は天皇の直営田のことである。

II

■出題の狙い

中世と近世の文化史を中心に出题しました。Aでは、院政期の文化についてのリード文を示し、院政期につくられた歴史物語や絵巻物などについての基本的な知識を問いました。また、Bでは、元禄期の文化についてのリード文を示し、儒学や美術、文学、自然科学などについて基本的な知識を問いました。

■採点講評

- 解答番号10 正答は③です。X誤り。法勝寺を建立したのは白河天皇。Y正しい。
- 解答番号11 正答は③です。①『今鏡』ではなく『大鏡』。②『増鏡』ではなく『今鏡』。『増鏡』は南北朝時代に成立した四鏡の最後のもの。④『平家物語』の成立は鎌倉時代。
- 解答番号12 正答は②です。①『伴大納言絵巻』は応天門の変を題材としている。③④院政期ではなく鎌倉時代の作品である。
- 解答番号13 正答は①です。エ中尊寺金色堂を建立したのは藤原清衡。藤原秀衡は奥州藤原氏の3代目である。オ白水阿弥陀堂は福島県にある。
- 解答番号14 正答は②です。①林鶯峰ではなく林羅山。林鶯峰は羅山の子。③古文辞学派ではなく聖学。④護園塾ではなく古義堂（堀川塾）。護園塾は荻生徂徠の私塾。
- 解答番号15 正答は②です。『経済録』は護園学派の太宰春台の著書。閑谷学校は池田光政が設けた藩学。
- 解答番号16 正答は①です。②宮崎安貞の農書は『農業全書』。『広益国産考』の著者は大蔵永常。③宣明暦の誤差を修正して貞享暦を完成させた。④吉田光由ではなく関孝和。吉田光由はそろばんによるかけ算・わり算の基礎を築いた。主著は『塵劫記』。
- 解答番号17 正答は③です。ケ井原西鶴は『好色一代男』など著した浮世草子の大成者。コ芳沢あやめは上方で活躍した女形。
- 解答番号18 正答は③です。X誤り。『色絵藤花文茶壺』は野々村仁清の作品。尾形光琳は『八橋蒔絵螺鈿硯箱』などの工芸品を残している。Y正しい。

III

■出題の狙い

近現代の外交史を中心に出题しました。Aでは、条約改正を概観するリード文を示し、人物名や事件名など基本的な知識を問いました。Bでは、第一次世界大戦後の国際情勢についてのリード文を示し、パリ講和会議やワシントン会議について基本的な知識を問いました。

■採点講評

解答番号19 正答は②です。1871年に派遣された使節の特命全権大使は右大臣の岩倉具視。

解答番号20 正答は⑨です。1876年から条約改正交渉にあたった外務卿は寺島宗則。

解答番号21 正答は⑩です。井上馨外相の交渉中にノルマントン号事件（1886年）が起こり、領事裁判権の撤廃の必要性が強く叫ばれるようになった。

解答番号22 正答は⑥です。1889年、大隈外相は玄洋社の来栖恒喜に襲撃されて負傷した。大隈の負傷で条約改正交渉は中止された。

解答番号23 正答は④です。1891年、来日中のロシア皇太子が津田三蔵巡査に襲われ負傷した大津事件に引責して、青木外相は辞任した。

解答番号24 正答は⑫です。1894年に領事裁判権の撤廃を実現させたのは第2次伊藤博文内閣の陸奥宗光外相。

解答番号25 正答は③です。①大隈案の内容。井上案では、外国人を被告とする裁判へ半数以上の外国人判事の任用を認めていた。②辰野金吾ではなくコンドル。辰野金吾の設計は東京駅など。④井上の外相辞任後に三大事件建白運動が展開された。

解答番号26 正答は①です。X Y正しい。

解答番号27 正答は②です。X正しい。Y誤り。アメリカは議会の反対により国際連盟に参加しなかった。

解答番号28 正答は④です。①②三・一独立運動と五・四運動が逆。③第3次日韓協約の締結は1907年で、時期が異なる。

解答番号29 正答は④です。①寺内正毅内閣ではなく高橋是清内閣。②③石井・ランシング協定と日英同盟が逆である。

解答番号30 正答は③です。①日ソ中立条約ではなく日ソ基本条約。日ソ中立条約は1941年に松岡洋右外相が結んだ。②④田中義一内閣の事績で、幣原外交にあたらぬ。

IV

■出題の狙い

岩宿遺跡や邪馬台国などといった原始・古代に関するものから、第一次世界大戦期の日本経済や55年体制などといった近現代の事象にいたるまで、すべての時代と分野を出題範囲として、基本事項を幅広く出題しました。

■採点講評

解答番号31 正答は①です。②～④は縄文時代の遺跡である。

解答番号32 正答は③です。X誤り。安帝に生口160人を献じたのは倭国王帥升等。卑弥呼は魏に朝貢して、「親魏倭王」の称号と金印紫綬、銅鏡100枚などを賜った。Y正しい。

解答番号33 正答は③です。①平将門の乱を鎮圧したのは平貞盛・藤原秀郷ら、②藤原純友の乱を鎮圧したのは小野好古・源経基らである。④前九年合戦ではなく後三年合戦。前九年合戦は陸奥の豪族安倍氏の反乱を源頼義・義家が出羽の豪族清原氏の援助で終わらせた事件で、これによって頼義・義家は東国武士団の棟梁としての地位を確立させた。

解答番号34 正答は②です。①鎮西探題は蒙古襲来（元寇）後におかれた九州の御家人の統率などを行った機関。③評定衆は1225年におかれた重要政務や裁判を担当した機関。④連署は執権の補佐にあたった。

解答番号35 正答は④です。①後醍醐天皇は摂政・関白を廃止して天皇親政を行った。②記録所ではなく雑訴決断所。③諸国では守護と国司が併置された。

解答番号36 正答は②です。①桶狭間の戦いではなく長篠合戦。桶狭間の戦いでは織田信長は今川義元を破った。③信長は、キリスト教は保護した。④足利義輝ではなく足利義昭。義輝は13代将軍。

解答番号37 正答は①です。②側用人は将軍の命を老中に伝える将軍の側近。③町奉行は江戸市中の行政・司法・警察を担った。④若年寄は老中を補佐した。

解答番号38 正答は②です。①生野の変（1863年）は福岡藩士平野国臣らが生野代官所を襲撃した事件。③禁門の変（蛤御門の変、1864年）は、八月十八日の政変で京都から追放された長州藩が朝廷での勢力奪還に失敗した事件。④生麦事件（1862年）は文久の改革を主導した薩摩藩の島津久光の帰途に、生麦付近で薩摩藩士がイギリス人を殺傷した事件。翌年、薩英戦争となった。

解答番号39 正答は③です。①大戦景気中のことではなく、1909年のこと。②八幡製鉄所は日清戦争の賠償金をもとに設立された（1901年操業開始）。④農業は寄生地主制のもとで停滞するなど、この時期には寄生地主制は進展した。

解答番号40 正答は④です。X誤り。日本社会党の統一を受けて、保守合同により自由民主党が結成された。Y誤り。日本社会党の村山富市ではなく、日本新党の細川護熙。

■全体の採点講評

日本史の問題は、時代から見ると、原始・古代から大問1問、中世・近世から大問1問、近現代から大問1問を出題しています。大問1問のなかをA、Bと二つに分けて、異なる二つの時代の問題を出題していることもあります。Ⅳでは現代に関する問題も出題しています。分野から見ると、政治史、外交史、社会・経済史、文化史のいずれかを重ならないように出題しています。政治史と文化史を混ぜた問題を出題することもあります。全体としては基本的な知識を問うものが多いですが、年代を並べ替える問題、資料を用いる問題も出題しています。

今回の問題の場合、時代の観点からすると、原始・古代は飛鳥時代（大化の改新）と平安時代初期、中世は院政期、近世は元禄期、近現代は明治時代と大正時代から出題しています。どこかの時代に偏るわけではなく、すべての時代を学習することを心がけてください。とくに、近現代はなかなか学習が進まないかもしれませんが、日本史が選択科目になっている知的財産学部も情報科学部データサイエンス学科も、近現代の学習をしっかりしていることを受験生に期待しています。

分野の観点からすると、政治史、文化史、外交史から出題しています。もしかしたら政治史を入念に学習する方が多いかもしれませんが、いずれかの分野に偏る出題はしていません。日本史が選択科目になっている知的財産学部も情報科学部も、大学に入学してからの学修内容は文化史に関わるものも多いです。文化史にも目を配ってください。

問題の種類という観点からすると、資料問題も出題していますが、資料集をすべて学習することを期待しているわけではありません。資料集を用いて学習することで、闇雲に暗記するのではなく、その時代のリアルな動きを把握するという学習習慣が身につくことを期待しています。

時代も分野も問題の種類も幅広いですが、大学での学びにも重要な内容ですので、ただ暗記するのではなく、日本史の大きな流れを複眼的に学習してってください。